

講義名称	卒業研究 I	担当教員名	鈴木 まゆみ
科目群	教養科目 (LA) CA1・CA2・DI1		
科目区分等	外国語、体育以外の科目 必修	単 位	1
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	CBLA2111

授業のキーワード	子ども理解 保育者 子ども 共感 肯定
授業の概要	文献を紐解きながら子ども理解とは何かを学習します。また、保育の場での観察に取り組み、実践の場に生きる子ども理解を検証し、子どもの姿を肯定するための観察の視点や記録の方法を研究します。
期待される学習成果 (目標)	子ども理解に関する知識を習得し、保育における子ども理解の重要性を理解します。また、子どもの姿を捉える観察の視点や記録の方法を保育実践に活かし、子ども理解を深めることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方、成績評価の方法等について説明します。
2	子ども理解とは何か	子ども理解とは何かを倉橋惣三、津守真、大宮勇雄の文献から紐解きます。
3	子ども理解の方法1	エピソード記述法・K J法の利点、具体的実践例について学びます。
4	子ども理解の方法2	レジジョエミリアのドキュメンテーションの利点、具体的実践例について学びます。
5	子ども理解の方法3	ラーニング・ストーリーの利点、具体的実践例について学びます。
6	研究課題の選択 (1)	研究課題を選択し、研究情報の収集を行います。
7	研究課題の選択 (2)	研究課題を選択し、研究情報の収集を行います。
8	研究情報の報告 (発表)	研究情報を文書でまとめたものをゼミ内で報告 (発表) します。
9	フィールドワーク (1)	見学やフィールドワークの対象を検討します。
10	フィールドワーク (2)	フィールドワークに取り組みます。
11	フィールドワーク (3)	フィールドワークに取り組みます。
12	フィールドワーク (4)	フィールドワークに取り組みます。
13	フィールドワーク (5)	フィールドワークに取り組みます。
14	卒業研究 II を見据えた準備 (1)	卒業研究 II の章構成 (案) を作成してみましょう。
15	卒業研究 II を見据えた準備 (2)	卒業研究 II の「研究の目的・動機」「先行研究」を執筆し、ゼミ内で発表してみましょう。

定 期 試 験	定期試験は、ありません。
授 業 時 間 外 学 習	研究テーマ・課題の学習 (予習・復習60分程度) に適宜取り組んでください。
評 価 方 法	提出物・レポート・中間報告資料など (50%)、研究に取り組む態度 (50%) から総合的に評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	適宜、授業時に配布します。
参 考 文 献	中坪 史典 (編集) 『子ども理解のメソドロロジー—実践者のための「質的实践研究」アイデアブック』 (ナカニシヤ出版2012)